

取扱説明書

DAYTONA

R97016①/⑥

*取り付けする前に必ずお読み頂き、内容をよく理解して正しくお使いください。

*この取扱説明書は、いつでも取り出して読めるよう大切に保管してください。

*この商品もしくはこの商品を取り付けた車両を第三者に譲渡する場合は、必ずこの取扱説明書も併せてお渡しください。

パイプエンジンガード (グロスブラック/シルバーメタリック)	適応車種	商品NO.
	CT125 ('20)	18960 97016

■ ご使用前に必ずご確認ください ■

※取扱説明書内の注意事項を守らずに使用した事による事故や損害について、当社では一切の責任は負いません。

※商品の保証については保証書裏面の保証規定に沿って行なっております。保証内容をご理解のうえ、この取扱説明書と一緒に保管してください。

本書では正しい取り付け、取扱方法および点検整備に関する重要な事項を、次のシンボルマークで示しています。

⚠ 警告 要件を満たさずに使用しますと、死亡または重傷に至る可能性が想定される場合を示してあります。

⚠ 注意 要件を満たさずに使用しますと、傷害に至る可能性または物的損害の発生が想定される場合を示してあります。

 実施	行為を強制したり指示する内容を告げるものです。	 禁止	禁止の行為であることを告げるものです。
 法令違反	条件次第では法令違反となることを告げるものです。	 その他	その他の警告及び注意を告げるものです。
 高温注意	表記の注意を告げるものです。		

⚠ 警告

 禁止	・本商品に不用意な曲げや切削、溶接などの加工を行なった場合、重大な事故につながる恐れがあります。商品には指定以外の加工を施さないでください。 ・本商品は記載されている適応車種以外の車両には使用しないでください。 ・走行中にエンジンガードの上に足を置いての運転は不安定で大変危険です。絶対に行わないでください。
 実施	・作業は安全な場所でセンタースタンドなどを掛けて車両を安定させた状態で作業を行なってください。 ・本商品の取り付け前に、装着箇所の純正部品や車両各部に欠損や破損が見られた場合は、その部品の再使用を避け、新しい部品に交換してください。そのままご使用になられますと、重大な事故につながる恐れがございます。 ・転倒された場合、本商品の取り付けボルトが緩んだり、変形してしまう場合がございます。そのまま使用されると重大な事故につながる恐れがございます。転倒後は新しいエンジンガードへの交換をオススメします。

⚠️注意

 実施	・周囲の安全を確保し、車両の転倒や怪我に十分注意して、取付作業を行なってください。 ・作業を行なう際は、その作業に適した工具をご使用ください。不適切な工具で作業を行なうと部品の破損やケガをする可能性があります。 ・本商品にはエッジや突起などがある場合がございます。作業前には必ず各部の確認を行ない、保護手袋などで手を保護してから作業を行なってください。 ・ボルトやナット類の締め付けにはトルクレンチを使用して、指定トルクまたは車両メーカー発行のサービスマニュアルで指示されたトルクで締め付けてください。 ・取り付け後、約 100km 走行しましたら各部を点検し、ネジの増し締め確認を行なってください。その後は約 500km 毎に必ず点検を行なってください。
 高温注意	・作業はエンジンやマフラーが十分に冷えてから行なってください。エンジンやマフラーに触れて火傷をする可能性があります。
 法令違反	・一般公道では、道路交通法に則した制限速度に準じた運行を行なってください。一般公道で制限速度を超えて走行した場合、ライダー自身が道路交通法（速度超過）により罰せられます。
 その他	・本商品は軽度の転倒時における、エンジンや車体へのダメージを軽減する目的の商品となります。転倒時のキズやカウル類の割れなどを保護するものではありません。 ・本商品は転倒時の状況によって、未装着時よりダメージが大きくなる場合がございます。またダメージを軽減できない場合もございます。 ・本商品を装着したことによる物的損害や人的損害などの保証は一切お受けできません。以上のことをご理解、ご承諾いただいた上で本商品をご使用ください。 ・転倒履歴がある車両には、取り付けできない場合がございます。 ・本商品の塗装は、飛び石やバイク保管用保護カバーとの擦れなどで塗装が剥がれる場合があります。あらかじめご了承ください。 ・走行中に異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停車させ、異常箇所を必ず点検してください。異常があった場合は商品または車両の走行を中止し、認証工場や販売店へご相談してください。 ・本商品は予告なしに価格や仕様を変更する場合がございます。また文中にご紹介した商品についても同様です。あらかじめご了承ください。

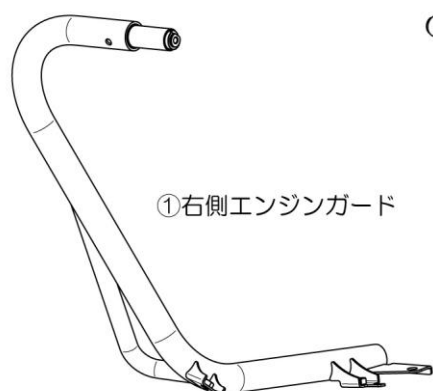
本商品の特徴

- ・立ちゴケなどの軽度な転倒に対し、車体へのダメージを軽減
- ・Φ25.4 パイプを採用しており、一部のハンドルクランプ部品なども装着可能
- ・スチール製のグロスブラック塗装とシルバーメタリック塗装の2種類をラインアップ
- ・Made in Japan

商品内容

NO	パーツ名	サイズ(mm)	数量	NO	パーツ名	サイズ(mm)	数量
①	右側エンジンガード (※1)		1	③	樹脂エンドキャップ	Φ25.4 用	2
②	左側エンジンガード (※1)		1				

※1…品番 18960 はグロスブラック塗装仕様。品番 97016 はシルバーメタリック塗装仕様。



①右側エンジンガード



②左側エンジンガード



③樹脂エンドキャップ

必要工具

- コンビレンチ 10mmmm
- ヘックスソケット 5mm
- ソケット 12mm
- ハンドル
- トルクレンチ（トルク調整範囲～40N・mをカバーできるレンチ）

取付方法

【作業前の注意事項】

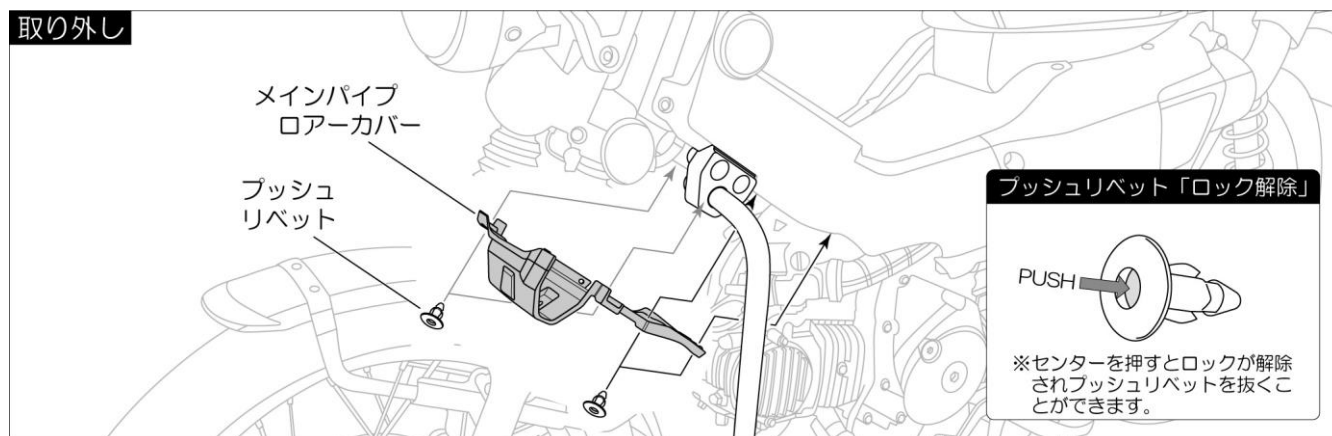
- 本取扱説明書はCT125（20）の車両をベースにご説明しております。車両年式や排気量の違いにより、異なる取り付け方法になる場合がございます。この車両以外は本取扱説明書を参考に取り付けをお願いします。
- 純正部品の取り外し、取り付けについては、各メーカー発行のサービスマニュアルを参照し、正しく行なってください。
- 作業を始める前に周囲の安全を確保し、安定した場所でセンタースタンドなどを使い車両を安定させた状態で転倒や怪我などに十分注意して作業を行なってください。

【取付作業】

01. 純正メインパイプロアーカバーの取り外し

- ブッシュリベットを4ヶ所外し、メインパイプロアーカバーを取り外してください。

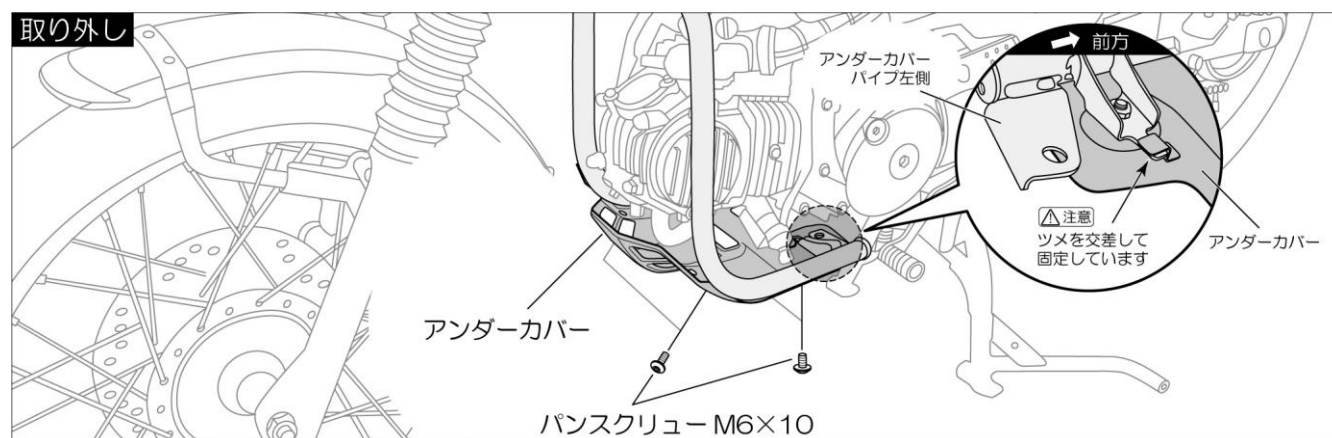
取り外し



02. アンダーカバーの取り外し

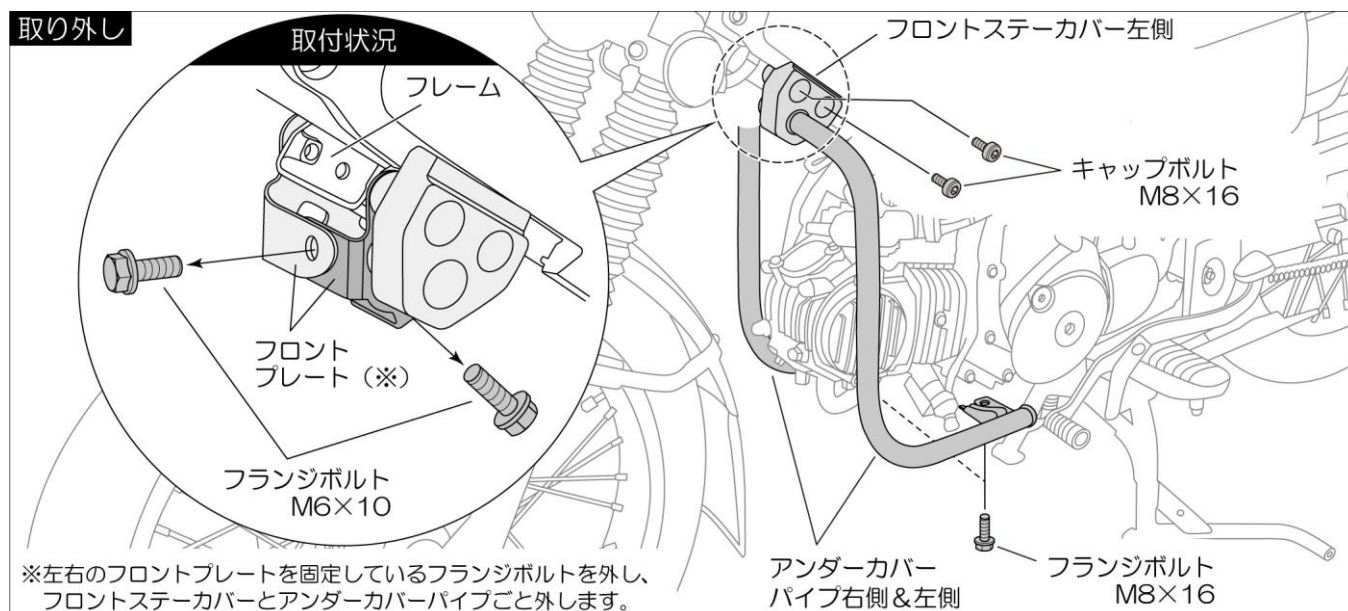
- アンダーカバーとアンダーカバーパイプ左側&右側に固定している4ヶ所のボルトを取り外します。
- 下イラストを参考にツメに注意しながら、アンダーカバーを取り外してください。

取り外し



03. アンダーカバーパイプ左側の取り外し

- フロントプレート固定しているフランジボルト（M6×10）の2ヶ所を取り外します。
- アンダーカバーパイプ左側を車両に固定しているフランジボルト（M8×16）を取り外します。
- アンダーカバーパイプ左側が落下しないように支えた状態でフロントステアカバー左側をフレームに固定しているキャップボルト（M8×16）の2ヶ所を取り外します。
- アンダーカバーパイプとフロントステアカバー、フロントプレート（片側）を一緒に車両より取り外してください。

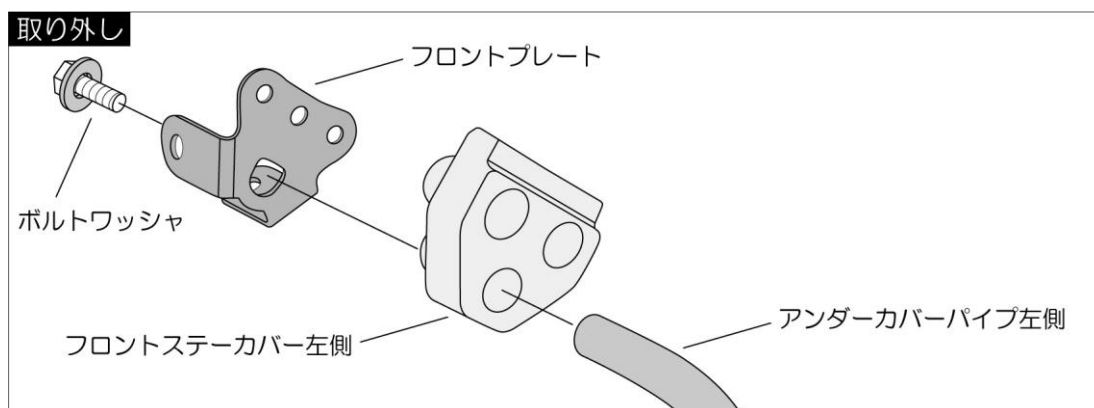


04. アンダーカバーパイプ右側の取り外し

- 手順 03 を参考にアンダーカバーパイプとフロントステアカバー、フロントプレート（片側）を一緒に車両より取り外してください。

05. 手順 03 と手順 04 で取り外した部品の分解

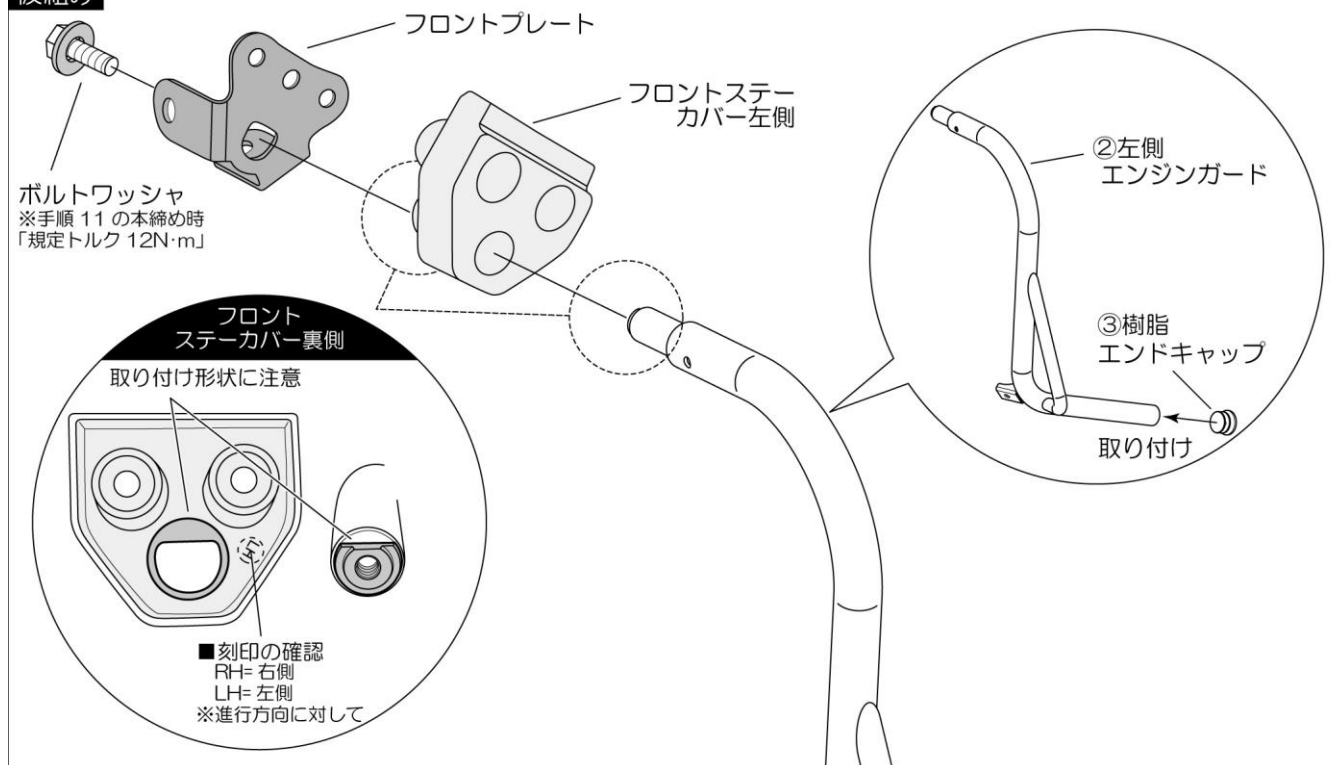
- アンダーカバーパイプとフロントステアカバー、フロントプレート（片側）を固定しているボルトワッシャを取り外し、それぞれの部品に分けてください。



06. 左側エンジンガードの仮組み

- 下イラストを参考に②左側エンジンガードに③樹脂エンドキャップを取り付けます。
 - ②左側エンジンガードとフロントプレート、フロントステアカバー左側を仮組みします。
- ※フロントステアカバーは左側用と右側用で分かれております。カバー裏側の刻印を参考に仮組みを行なってください。

仮組み



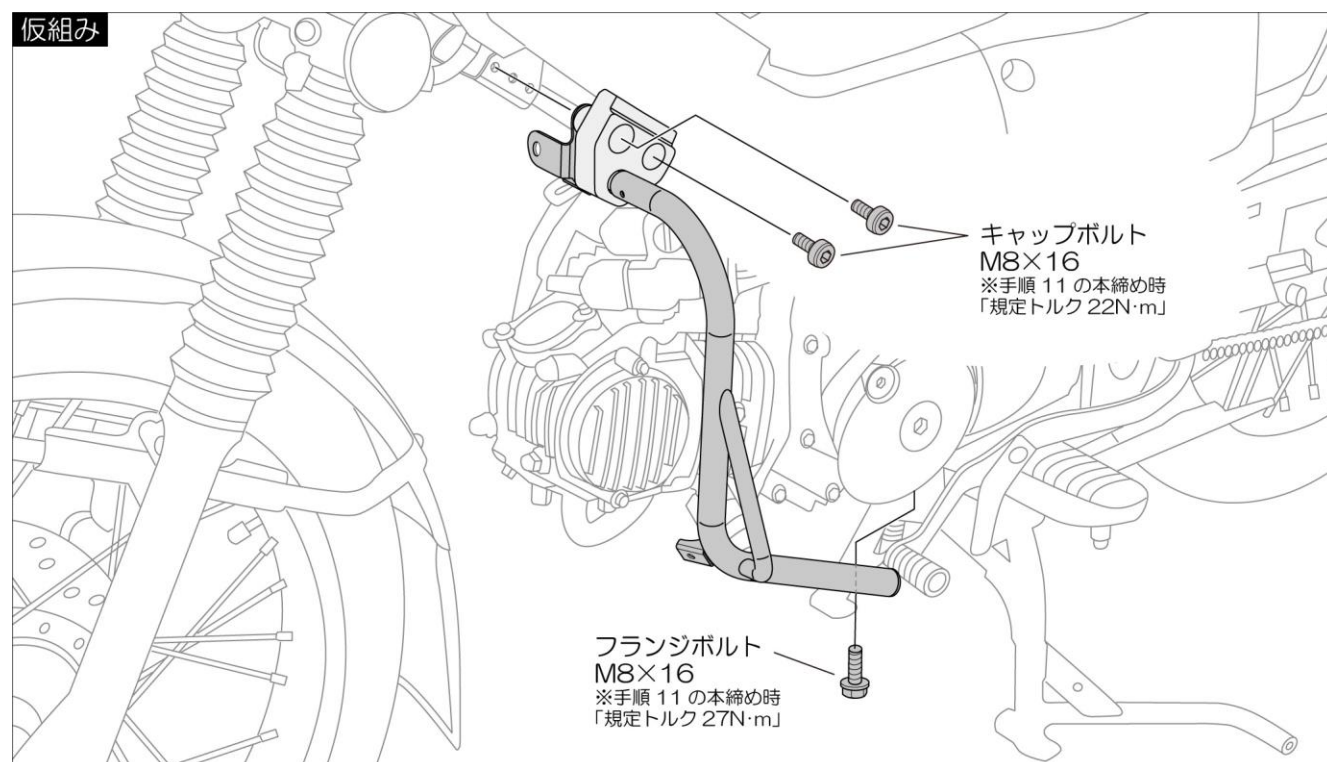
07. 右側エンジンガードの仮組み

- 手順 06 を参考に①右側エンジンガードも仮組みします。

08. エンジンガードを車両へ仮組み

- 手順 06 と手順 07 で仮組みした左右のエンジンガードを車両へ仮組みします。
- ※下イラストは左側エンジンガードの取付参考例となります。

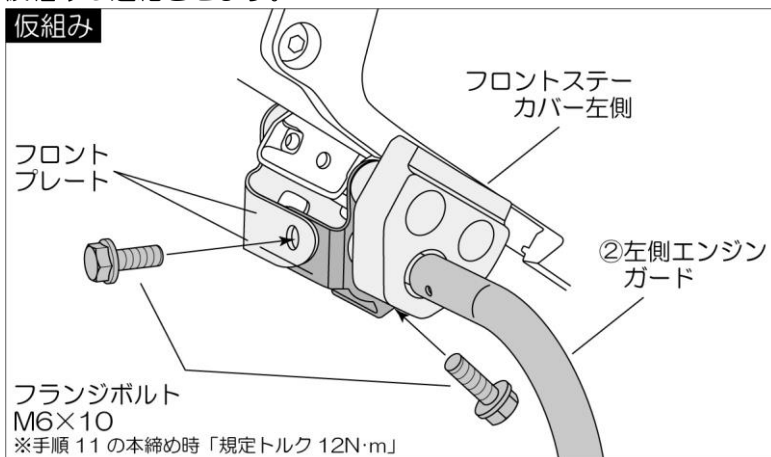
仮組み



09. 左右のエンジンガードを仮組み

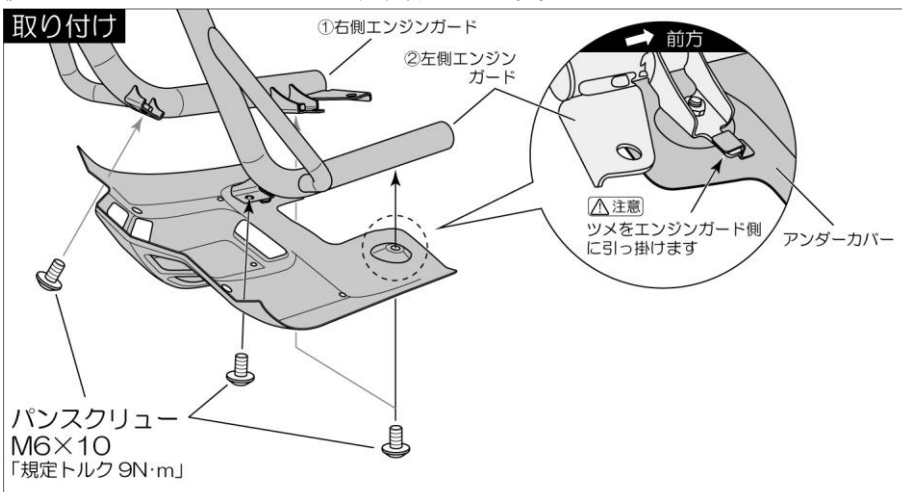
- 手順 08 で取り付けした①右側エンジンガードと②左側エンジンガードをフランジボルト（M6×10）で仮組みし連結させます。

仮組み



10. アンダーカバーの取り付け

- 下イラストを参考にアンダーカバーのツメに注意して、パンスクリュー（M6×10：所定トルク 9N・m）を使い左右のエンジンガードに取り付けします。



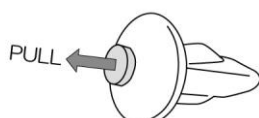
11. 各部を所定トルクで固定

- 各部の部品に無理がないように位置を調整し、ボルトを軽く締め込みます。
- 手順 08 で仮組みしたキャップボルトを規定トルク 22N・m で締め付け、フランジボルト（M8×16）を規定トルク 27N・m で締め付けてエンジンガードを車両に固定します。
- 手順 09 で仮組みしたフランジボルト（M6×10）を規定トルク 12N・m で締め付け左右のエンジンガードを固定します。
- 手順 06 と手順 07 で仮組みしたボルトワッシャを規定トルク 10N・m で締め付け固定します。

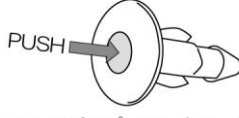
12. メインパイプローアカバーを取り付け

- 下イラストを参考にプッシュリベットをセットします。
- プッシュリベットを使いメインパイプローアカバーを取り付けます。

プッシュリベット「セット」



プッシュリベット「ロック」



13. 最終確認

- 各部が確実に締め付けされていることを確認し、その他に異常がないことを確認して作業は終了です。

東証JASDAQ上場
株式会社

デイトナ

〒437-0226 静岡県周智郡森町一宮 4805

URL: <https://www.daytona.co.jp>

©デイトナ商品についてのご質問、ご意見は「フリーダイヤルお客様相談窓口」0120-60-4955 まで

転載
禁止

本取扱説明書の内容の一部、
または全ての無断転載を禁止